別記第１号様式

＜兼務比率記載欄＞
：

目標設定：平成２３年４月　１日
評　　価：平成２４年１月３０日

組織名称	陶磁器意匠研究所
補職名・氏名	次長　加藤昌宏

平成23年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標				達成度
	標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標１	やきものの未来を担う人材の育成 世界に通用する陶磁器及びタイルのクラフトマン、デザイナーの育成	①陶芸、クラフト、デザインなど国内外の次世代のやきものを担う人材を育成する研修課程（デザインコース・技術コース・セラミックスラボ）の実施 ②研修用資料の充実・保存を目的とした、石膏成形技術テキストの作成 ③社会ニーズや陶磁器業界の実勢に合わせた授業内容やカリキュラムの改良（絵付実習、タイルデザイン実習） ④老朽化した施設の改修や、設備の充実による研修環境の充実	①第53・54期ﾃﾞｻﾞｲﾝ・技術ｺｰｽ及び第9期ｾﾗﾐｯｸｽﾗﾎﾞ42名の研修課程を実施、9月9日からｾﾗﾐｯｸｽﾗﾎﾞは販売を伴う展示会を実施②石膏成形技術ﾃｷｽﾄの技法写真・成型技術写真の撮影、ﾎﾟﾝﾁ絵の作成、本文の執筆を分担して作成、A4ｻｲｽﾞｶﾗｰ版を3月に完成予定③上絵付け実習について「基礎技術の習得」と「応用制作」の要素に分け基礎は前期に集約し効率化を図った。卒業施策展会場をｾﾗﾐｯｸﾊﾟｰｸに変更、より表現のしやすい展示にし研修生の制作意欲高揚を図る。④研究生実習棟のｴｱｺﾝ設置、冬場の暖房環境整備のためのｶﾞｽｽﾄｰﾌﾞ用ｶﾞｽ配管工事、圧力鋳込み成形機の修繕などを実施	+2
目標２	やきもの技術の伝承と新技術の開発 既存技術のデータ化と異分野技術との融合化による新技術の開発	①研究生対象の技術資料や業界からの技術相談に対応するための資料の収集、整理及びデータベース化 ②粘土、石膏、酸化鉄等の窯業源料と微生物の関係を明らかにし、異分野技術（バイオ技術）と融合した窯業技術の開発 ③戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）として、笠原地区の企業と協同し、遮熱釉薬を用いた高気温対策に有効な新製品開発と商品化の実施	①当所が管理している釉薬（100件以上）を測色し、ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ化を行った。②岡山大学農学部で行われている鉄酸化細菌の研究情報を収集。工学部の教授が主催する研究会に所属し、情報の収集及び交換。富山高等専門学校で取り組んだ。廃石膏のﾘｻｲｸﾙについて、建築業界や鉄鋼業界などの現状・対策について調査、窯業における廃石膏の処理方法について検討③戦略的基盤技術高度化支援事業については、地元企業を中心として5月に事業提案（遮熱顔料を用いた高気温対策に有効な新製品開発事業）をしたが審査により不採択と	0
目標３	市民に開かれた研究所つくり 研究所の事業及び施設を市民に公開	①市民に対する卒業生の活動紹介に有効な資料として、平成22年度に実施した市制70周年記念事業卒業生作品展図録の作成 ②業界や卒業生を交えての議論を通じた、若手人材と地場産業企業の両者が共存できる関係の確立のための追跡調査、実態調査の実施 ③ホームページや印刷物(Interview)および雑誌広告を使った研究所のPRと、研修課程説明会の実施 ④夏場の高気温対策や冬場の砂埃対策として植えた中庭芝生の管理	①H22に実施した市制70周年記念卒業生作品展の図録（完成ｻｲｽﾞはA4ｶﾗｰ100頁超）を作成②来年度新規採用予定の企業訪問を行うとともにﾆｰｽﾞや状況調査を実施した。③ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞは5回/月以上の更新をして積極的な情報提供を実施、炎芸術に研修生募集広告を掲載、10月22日に24年度新入生に向けた研修課程説明会を実施した。④芝生の育成管理を実施、また、緊急雇用創出事業による敷地内除草業務(4月～9月)を実施し、12月に県への精算報告を完了した。	+1
目標４	地域のやきもの産業支援 新製品開発の支援及び受託によるデザイン・技術支援	①多治見市内産地（市之倉・高田・滝呂・笠原）相互の地域資源を活かした新商品開発及びPR支援 ②陶磁器業界のみならず全国の陶芸家、個人作家の製品、作品の安全性を確保するための鉛・カドミウム溶出試験及びスポーリング試験の依頼試験事業を実施 ③市内産地の新製品開発についてデザイン及び技術の両面での支援 ④庁内、業者などからのデザイン受託事業の実施 ⑤原料調製、釉薬調製などの技術受託事業の実施	①③高田焼が安全に使用されるための釜めし容器の取り扱いについての試験及び取扱説明書作成を支援、また市高笠ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの推進を支援。②鉛・ｶﾄﾞﾐｳﾑの溶出試験等依頼業務については、12月末で2,900件を実施、来年度に原子吸光分析機器更新のための手続きを実施中④【庁内受託】国体用陶磁器ｶｯﾌﾟ転写ﾃﾞｻﾞｲﾝ、市有施設における節電中である旨の表示の作成（冬用）、子育て宝島ﾌｪｽﾀ看板ﾃﾞｻﾞｲﾝの作成、多治見市起業支援ｾﾝﾀｰ主催「企業家支援ｾﾐﾅｰ」参加者募集ﾁﾗｼのﾃﾞｻﾞｲﾝ作成、避難行動ﾘｰﾌﾚｯﾄのﾃﾞｻﾞｲﾝ作成⑤原料調製、釉薬調製などの技術受託事業は1月中旬までにおいて37件の相談業務を実施	+1
目標５	企業、大学等との連携の強化 企業、大学からの研究生の受入実施	①大学と相互に講座の開設など連携強化を推進 ②特別研究生の受入事業を実施 ③セラミックス協会陶磁器部会、東海支部及び産業技術連合部会など窯業関連学協会への参加 ④デザイン担当者会議など陶磁器デザインに関関連した会議、学会等への参加 ⑤業界との情報交換会の実施（運営審議会に替えて）	①文化学院（東京）のｾﾐ視察を受入、陶磁器基礎講座を東海地域の短大、4大で実施予定②米国在住及びﾏﾚｰｼｱからの問い合わせについて受入資格等の案内を送付するなど対応③ｾﾗﾐｯｸｽ協会陶磁器部会（10/14）、東海支部研究発表会（12/3）、ｾﾗﾐｯｸｽ技術担当者会議（12/8）など窯業関連学協会へ参加④ﾃﾞｻﾞｲﾝ担当者会議（10/27、28京都）に参加⑤6月までに市内陶磁器商工組合及び岐阜県工業組合連合会に運営審議会廃止を報告、昨年度まで運営審議会資料として作成してきた資料に替わる業務報告書を作成し、11月に多陶商ほか4工業組合等を個別訪問し、情報交換を実施	0